



シカモア日本語教室 もみじ組 名前

しゅく

宿題 たしかめ表

れいわ 7 年 8 月 15 日～8 月 21 日

おうち の人の サイン			今週の宿題 12
	S	I	★毎日・音読「仕事のくふう、見つけたよ」 漢字カード④
	S	2	★毎日・漢字学習ノート P.43 下～46
	S	3	★毎日・漢字テスト勉強
	S	4	★今週の出来事
	S	5	(1) 教科書じゅ業プリント 12 「詩を味わおう」
	S	6	(2) 教科書ふく習プリント 12 「詩を味わおう」
	S	7	(3) 教科書よ習プリント 12
	S	8	(4) 言葉調べと文作り 12
	S	9	(5) ことわざ調べ 12
	S	10	(6) 部首プリント 12
	S	11	(7) かし組の漢字のふく習 12
	V	12	(8) 音読ビデオー p.101 を読みましょう。
		13	今月の歌「イルカはザンブラコ」

* S は Google Classroom のスライドにアップロードする。V はビデオ、M はメール。

音読カード きのうより上手に読めたかな よくできた ◎ できた ○ もう少し △

読むめあて	金	土	日	月	火	水	木
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 点や丸で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内ようがわかる							
おうちの人のサイン							

今週の二つの出来事

名前

①今週に起った二つの出来事を書きます。

②「はじめ」「中」「終わり」の文章の組み立てを考えながら書きましょう。

終わり	中	はじめ	
		令和 年 月 日 曜日	

終わり	中	はじめ	
		令和 れいわ 年 月 日 曜日	



かんじテストもんだい 12

★ ①読みを書く。②かんじをなぞる。③中に気をつけて、四角の中にていねいに書く。

(1) 平泳ぎ

(4) 童話

練習

申す

商品

近所

大人

助言

平泳ぎ

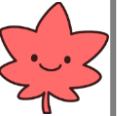
(2) 練習

(6) 大人

(3) 助言

(7) 近所

(8) 商品



じゅぎょうプリント 「詩を味わおう」

★ 「わたしと小鳥とすずと」を読んで、答えましょう。

一、次のことは、「わたし」を、何とくらべて書いていますか。

わたし
が両手をひろげても、
お空はちつともとべない
わたしがからだをゆすつても、
きれいな音はでない

二、空をとべる「小鳥」は、「わたし」のように、どうすること
ができるないのですか。

三、「すず」はきれいな音をだせても、「わたし」のように、何
をしらないのですか。

四、この詩を書いた人の気持ちが、強く表れている一行を教科書
から書き出しましょう。



じゅぎょうプリント

「タ日がせなかをおしてへる」

タ日がせなかおしてへる

まひかなへとおしてへる

歩くはへとおしてへる

でかごねとおしてへる

やまとひ やまとひ



ぱんぱんがせらるる

あしたの朝ねすうすな

タ日がせなかおしてへる

そんなにおすなあわてるな

ぐるりうりむき太陽に

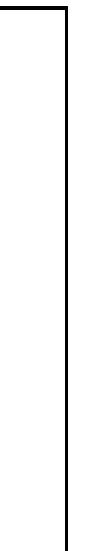
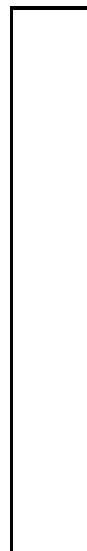
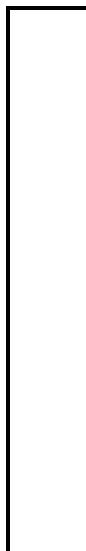
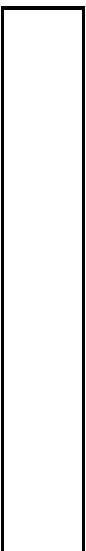
ぱへふもぬけすんだんだ

やまとひ やまとひ



ぱんぱんがせらるる

あしたの朝ねすうすな





教科書ふく習プリント 「わたしと小鳥とすずと」



わたしと小鳥とすずと

金子 みすゞ(さ)

・わたし

わたしが両手をひろげても、

お空はちつともとべないが、

とべる小鳥はわたしのように、

地面じべんをはやくは走れない。

・小鳥

わたしがからだをゆすつても、

きれいな音はでないけど、

あの鳴るすずはわたしのように

たくさんなうたは知らないよ。

・すず

(1) 第一連に書いてある、わたしとすず、それぞれ
のできることを書きましょう。

・わたし

(2) 第二連に書いてある、わたしとすず、それぞれ
のできることを書きましょう。

すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがつて、みんないい。

(3) 第三連の中で、作者の思いが書かれている一文
を書き出しましょう。



教科書ふく習プリント 「夕日がせなかをおしてくる」

夕日がせなかをおしてくる

阪田 宽夫

寛
夫

—— 夕方 早朝

夕日がせなかをおしてくる
まつかなうてでおしてくる

(2) 「夕日がせなかをおしてくる」は、どんな様子をあらわしていますか。あてはまる方に、○をつけましょう。

歩くほぐらのうじでから
でつかい声でよびかける

ヤマトナガ

ヤリトナラ カミタチ

ばんばんがまつてゐるぞ

あしたの朝ねすゞな

夕日がせなかをおしてくる

ぐるりふりむき太陽に

そんなにおすなあわてるな
ぐるりふりむき太陽に

ほくらも負けすとなるんだ

卷之三

さよなら 太陽

はん)はんがままでるそ

あしたの朝ねす（すな

（） 小さな声で、やさしく読む。
（） ひくい声で、おそろしそうに読む。
（） 高い声で、かわいく読む。
（） 大きな声で、元気に読む。

第二連の(い)の四行は、だれが、だれに言つてゐる。

第一連の(4)の四行は、だれが、だれに言
ますか。

(4) 第二連のいの四行は、だれが、だれに言ってい
ますか。

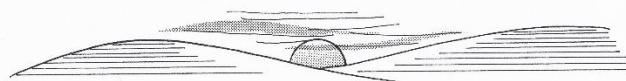
(5) 言つてはいる。

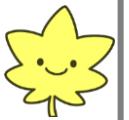
() が

() に

上の詩を読んで答えましょう。

(1) いつごろのことを書いた詩ですか。一つに○をつけましょう。





教科書 よ習。プリント 「仕事のくふう、見つけたよ」

1.お母さんは、どんな仕事をしていますか。（したことがありますか。）

2.お父さんは、どんな仕事をしていますか。（したことがありますか。）

3.お母さんの仕事の中で、どの仕事にきょうみをもちましたか。それは、どうしてですか。

4.お父さんの仕事の中で、どの仕事にきょうみをもちましたか。それは、どうしてですか。

5.みの回りには、どんな仕事がありますか。きょうみのある仕事を三つ書きましょう。



言葉調べと文作り

12

★★次の言葉の意味を国語辞典で調べます。言葉の意味が二つ以上ある場合は、教科書に一番合った意味をえらんで書きなします。

★★調べた言葉から三つをえらんで、文を作ります。(しゅ語とじゅつ語のそろった文を作ります。)

5 総合的 <small>そうごうてき</small>	4 ふだ	3 うかがいました(うかがう)	2 せんでん	1 きょうみ
-----------------------------------	---------	--------------------	-----------	-----------

（）

（）

（）

★次の二つのことわざの意味を調べて書きましょう。

馬耳東風



住めば都





部首(ぶしゅ) 12

★次の漢字の部首をハイライトした後、
部首の名前を書きましょう。

① 氵

② 緑

③ 助

④ 童

⑤ 申

⑥ 品

⑦ 商

） ） ） ） ） ） ）

★★次の部首のつく漢字を書きましょう。

① ごんべん

② さんずい

③ おおがい

④ おおざと

⑤ はつがしら

教科書の百五十ページから見てみましょう。

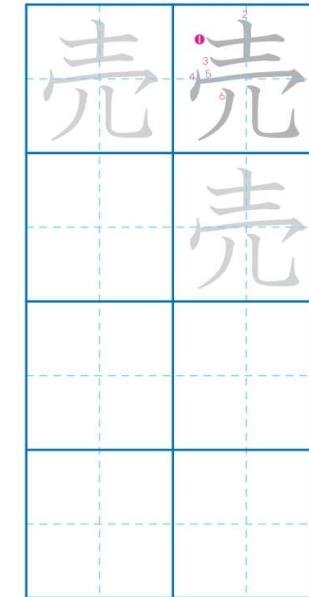




かし組のかん字のふくしゅう

12

●「売・買・鳴」のつくことばをかきましょう。



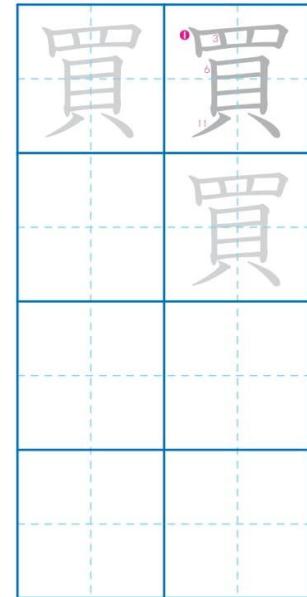
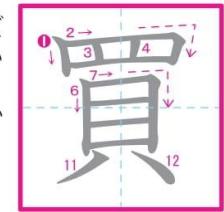
売

売

売

「ばいてん」

「ふくを売る」



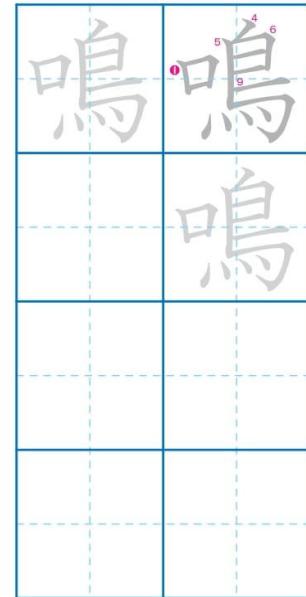
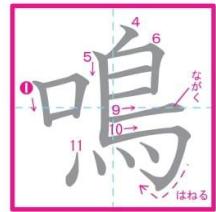
買

買

買

「かいもの」

「かねが鳴る」



鳴

鳴

鳴

「ひ鳴をあげる」

「鳥が鳴く」

●れんしゅうしたかん字で文を作りましょう。

平泳ぎ

お客様

今年

全員

練習

入学式

集める

祭り

助言

去年

化石

農作業

童話

二倍

死ぬ

鉄板

申す

毛筆

都合

電柱

大人

銀行

両手

休日

近所

二日

負ける

油田

商品

植物

図書係

開港